

Press Release

報道関係各位

10月9日

岡山理科大学 広報部

AI・ITのエキスパート 2 人を 学園理事長特別補佐、岡山理科大学招聘教授に委嘱 ——AI活用して地域社会への貢献目指す——

学生及び教職員のAIスキル向上に向けて、加計学園と岡山理科大学は、日本全国で AI・IT 推進役として数多くの実績を持つ小出泰久・大阪教育大学客員教授と、陳内裕樹・内閣府クールジャパン・プロデューサーの 2 人を「加計学園理事長特別補佐」および「岡山理科大学招聘教授」として委嘱します。10 月 13 日(火)に委嘱式を行いますので、お知らせします。

学内のスキルアップを進めるとともに、2027 年 4 月には「AI 活用研究所」(仮称)を設立して、地域経済の生産性向上などにも貢献していくという構想です。

小出氏は民間企業でシステムエンジニアやコンサルティング業務に従事後、複数の外資系大手 IT 企業で 10 年以上教育業界に関わり、経団連イノベーション委員会エドテック戦略検討会委員のほか、日本教育工学協会、一般社団法人日本教育情報化振興会、公益財団法人学習情報研究センターなど複数の理事を務めています。

一方、陳内氏は、内閣府クールジャパン・プロデューサーとして、中央省庁・地方公共団体等のデジタル変革を通じた地方創生とデジタル田園都市国家構想の推進を支援。横浜国立大学学長特任補佐、鹿児島大学学長特別顧問、富山県立大学客員教授など教育政策と他政策の連携を軸にした地域未来政策の研究者として、多くの自治体首長の政策参与・アドバイザーを務めています。

委嘱式は以下の要領で行います。

日時:10 月 13 日(火)14:30~15:00

会場:岡山理科大学岡山キャンパスA1号館11階ラウンジ

主な出席者:

小出、陳内両氏と加計役・加計学園理事長、平野博之・岡山理科大学学長ほか

●委嘱の目的

急速に進化する AI 社会において、本学園は教育現場での AI 活用を推進するとともに、地域社会に開かれた AI リスキングの機会を提供することを目的としています。本学園では、この目的を継続的かつ実効的に推進するための基盤(プラットフォーム)として「AI 活用研究所」(仮称)の設立を目指しており、地域に根差した活動を展開していきます。

主な目的は以下の3項目です。

- ① 学生への教育： AI を使いこなし、将来のキャリアで主導権を握るための実践的リテラシーと活用スキルの育成
- ② 教職員の業務変革： AI を活用した教育カリキュラムの高度化および校務・研究支援の効率化推進
- ③ 地域企業へのリスキング支援： 地元企業の DX・AI 導入を伴走支援し、地域経済の生産性向上と競争力強化に貢献

■本件に関する問い合わせ先

岡山理科大学 広報部(086-256-8412、media-relations@ous.ac.jp)